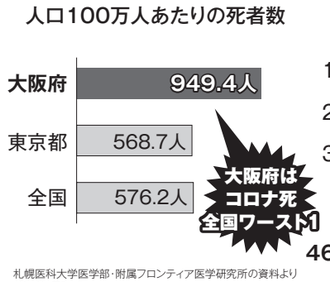
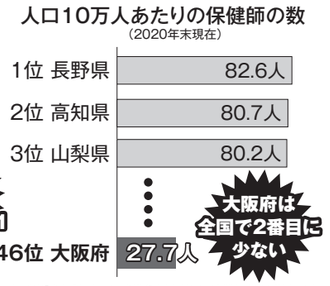
いのちを大切にし、くらしやすい大阪に

体制強化で、いのちを守れる府政へ

大阪では、コロナ感染拡大において全国最悪の事態を招き、全国と比べても異常な状況は続いています。「身を切る改革」で公的責任を縮小させ、住吉市民病院の廃止などを進めてきた結果、いのちを守る体制を脆弱化させた維新政治の責任は重大です。吉村知事・松井市長の2年間のコロナ対策は、科学的根拠に基づかないばかりか、ほとんど利用されなかった「大規模コロナ病床の緊急設置」の失敗にも見られるように計画の甘さによって現場に混乱を招いています。医療現場では、コロナ以外の治療が制限され「いのちの選別」を迫られる事態となりました。コロナ禍においても医療や公衆衛生などを切り捨ててきた吉村府政の「人災」です。「助かるいのちが助からない」事態をもう二度と繰り返さないためにも、医療・公衆衛生体制の検証と行政の責任を追及し、いのちが守れる府政への転換を求めていく必要があります。





知事が変われば医療は大きく変わる

耳原病院労組　野田雅一さん

たつみさんに、国が大阪府も医療機関への補助打ち切りを言っていることについてお聞きしました。たつみさんは医療現場の大変さにも触れ、「私が知事なら医療機関をしっかり支援していく」と力強く答えてくれました。たつみさんが知事になれば、公的医療や保健所体制の拡充や医療機関への支援など、大阪の医療が大きく変わると思います。コロナ死亡者数全国最多でいいはずはありません。たつみ知事実現のために、がんばりたいと思います。

子どもにやさしい教育をすすめる「たつみ府政」を実現しよう

大阪府の公立中学校で実施されている「チャレンジテスト」は、学校ごとの評定を行う3年生は「団体戦」方式のため、学校間格差を作り出す状況が現在も続いており、中学生・小学生は、ますますテストに追われる学校生活を強いられています。

また、大阪府立学校条例は「3年連続定員割れ」している公立学校を廃止すると定めており、身近な高校が17校も廃校されました。さらに、大阪市立の高等学校を府に移管したうえ、統廃合を加速する動きも起きています。

こうした教育破壊を止め、教育を大切にする府政が必要です。

自転車で通える近くの学校がなくなる！

募集停止年度	学校名
2000～2008年	門真南・玉川・守口 八尾南・白菊・高槻南 上神谷・枚方西・加納 城山・南寝屋川・横山 鳥飼・少路・四條畷北 清友・西浦・砂川
2016年	池田北・咲洲
2017年	西淀川
2018年	大正
2019年	柏原東・長野北
2020年	勝山
2022年	南・西
2023年	島本・茨田・泉鳥取
2024年	平野・かわち野・美原
未定（廃止の方針）	泉尾工業・生野工業

競争で追い立て学校つぶす維新府政

大阪教職員組合書記長　米山幸治さん

維新府政は、教育予算を減らし、中学生「チャレンジテスト」や小学生「すくすくウォッチ」で子どもを追い立て、17校もの「高校つぶし」などを強行。府独自の「少人数学級」に背を向け、障害児学校の建設もほんの少し。その一方、害悪をもたらすカジノ誘致。もはや教育現場の我慢は、限界を超えています。府民の声をきき、子どもにやさしい教育をすすめる「たつみ府政」を実現しよう。

「カジノは大阪経済の起爆剤となる」って本当？

大阪府・市議会は、大阪市・夢洲でのカジノ開業に向けた認定を国に申請しました。維新の会の吉村知事や松井市長が「カジノは大阪経済の起爆剤となる」と強調していますが、本当でしょうか。

当初、IRへの年間来訪者数計画は「2千万人」と予想していました、これはコロナ前の計画で、コロナ禍での計画は出されていません。

カジノありきの無謀な計画

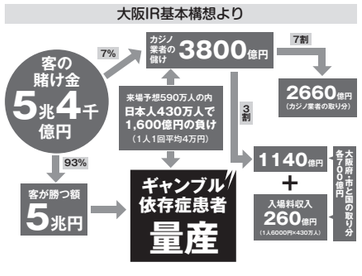
松井市長は、「カジノには1円の税金も使わない」と言っていましたが、カジノ建設予定地の土壌改良に790億円もの費用負担が明らかになりました。また、大阪市がカジノ建設予定地の賃料などの算定を不動産鑑定業者に依頼したところ、4社のうち3社で土地の算定額が一致しており、談合疑惑が浮上しています。さらには、カジノ建設予定地への道路工事費用は、1162億円から約2900億円に膨れ上がることも明らかになっており、カジノありきの無謀な計画で、借金を積み上げてきた古いハコモノ行政の繰り返しです。

カジノができると積荷が遅れる

港湾で働く労働者は「IRやカジノができると周辺道路が渋滞して仕事にならない。積荷も遅れて経済にもマイナスになる可能性もあるのでは」と語りました。

カジノは博打

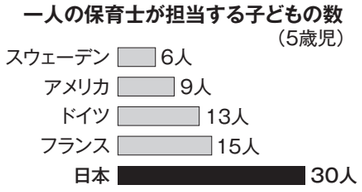
カジノは賭博です。負けた人のお金をあてにするのは成長戦略と呼べません。また、カジノによるマイナス効果はプラス効果の4・7倍という試算もあります。



「カジノNO」の知事を誕生させよう

たつみコータローさんは「知事になったら真っ先にカジノ誘致を中止します」と言っています。大阪府民のくらしと大阪経済を守り前進させるには「カジノNO」の知事が必要です。

福祉や保育の施設が安心・安全に利用できるには？



福祉や保育職場では、職員を募集しても人が来ない、就職しても長く働き続けることができないなど、人材不足が蔓延しています。また、コロナ禍では、職員が足りない中、消毒や衛生対応、感染拡大防止といった過重な労働を強いられました。公的支援が不十分な中、子どもたちや利用者の「豊かな暮らし」の確保もままならず、労働者としての社会的責任を果たすことも困難な状況が続いています。

たつみさんはケア労働者の増員や保育士の配置基準改善は府の財政でできると示しています。福祉や介護を安心して利用できる大阪府に変えることが大切です。

安全面により一層配慮した保育が必要

遠里小野保育園分会　大海良司さん

保育職場では、つかまり立ちくらいから走る子どもが一緒に生活する中では、安全面により一層配慮した保育が必要です。自分の思いを言葉にできない子どもは「押す・叩く・噛む」等のトラブルになることもあり、全体を見守る保育になってしまい、少人数でゆっくりと関わる時間がなくなっています。また、食事、排泄、着脱等生活面の援助もより時間がとられます。以前の大阪独自の配置基準でも人手が足りていないのに、維新政治になって国の配置基準になってさらに職場は大変です。配置基準を見直し、職員を増やして欲しいです。

国労大阪会館を
研修・学習会などにご利用ください
JR・天満駅　地下鉄・扇町駅 下車スグ
◆身障者用昇降機設置
お申し込みは ☎06（6354）0661
〒530-0034　大阪市北区錦町2－2